

群馬県野生動物調査・対策報告会 2010 要旨集

平成 23 (2011) 年 3 月 21 日
【東日本大震災のため開催は中止致しました】

群馬県野生動物調査・対策報告会 趣旨

群馬県は、太平洋型気候と日本海型気候、約2,500mの標高差、多様な地形や地質、多くの河川や湖沼など様々な生息環境があり、それらに適応したいろいろな生き物たちが互いに関係し合いながら固有の生態系をつくっています。ブナ林に代表される自然林や多くの湖沼・湿原、そして人が手を入れて利用してきた里山や里地など、群馬県には数多くの生態系があり、多種多様な動植物が生きている豊かな自然があります。

しかし、近年、野生動物をとりまく環境は大きく変わり、ヒトとの軋轢が増加しています。

本報告会は、野生動物に関わる行政の取り組みの現場の声を、県民の皆様にお伝えすることを目的に開催しています。この機会を通じて、身近な自然環境への理解を深め、人と動物の軋轢を減少させる対策が普及し、人と動物がともに暮らしていける豊かな自然環境を気づけることを願っています。

過去の開催

第1回目：平成21年3月 1日開催

第2回目：平成22年2月21日開催

第3回目：平成23年3月21日 東日本大震災（3.11）により中止。要旨集を公開しました。

このたびの震災により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

目次

報告内容

1. 赤谷プロジェクトにおけるほ乳類調査と森林管理への反映 3
2. 群馬県における平成 22 年度ツキノワグマ出没状況について 5
3. みなかみ町におけるツキノワグマ対策の取り組み 7
4. 堅果類の豊凶 9
5. ナラ枯れ被害の現状について～なら枯れ被害と防除方法～ 11
6. 群馬県におけるツキノワグマの食性 13
7. ツキノワグマの疥癬症について 15

資料

- 狩猟・有害捕獲の状況について 17
- 有害鳥獣捕獲状況
 - 狩猟による鳥獣捕獲状況
 - 狩猟者の状況
- 平成 21 年度有害・狩猟捕獲状況
- イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン、ニホンザル、カワウ 19